

2012年8月1日

スカパーJSAT株式会社

米国 Panasonic Avionics 社における  
通信衛星スーパーバード C2 の利用について  
～インド洋及び東南アジア上空における民間航空機向けサービスに利用予定～

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田 真治、以下スカパーJSAT）は、Panasonic Avionics Corporation（本社：米国カリフォルニア州、Chief Executive Officer Paul Margis、以下パナソニック）の航空機内ネット接続サービス eXConnect に、スーパーバード C2 衛星の中継器（トランスポンダ）が利用されることになりましたので、お知らせいたします。今秋よりインド洋及び東南アジア上空における民間航空機向けサービスに利用される予定です。

パナソニックは世界有数の航空機内 AV システムのプロバイダとして航空機内ネット接続サービス eXConnect を提供しています。eXConnect は、高度約 10,000 メートルを高速で航行する旅客機内での高速インターネット接続サービスの実現により、世界の主要民間航空会社に採用されており、太平洋、大西洋上空など続々とサービスエリアを拡大しています。今回、スカパーJSAT が保有する通信衛星“スーパーバード C2”に搭載された Ku-band のトランスポンダを eXConnect 向けに専用割当を行い、東南アジアビームに接続しました。これにより、eXConnect のサービスエリアがオーストラリア西岸からインド半島に広がる広範なインド洋及び東南アジア上空に拡大されることになり、このエリアの上空を航行する民間航空機の機上では、乗客の皆様がお持ちの無線 LAN 対応のスマートフォンや、PC 等によるインターネット接続がご利用可能となります。

スカパーJSAT は、船舶・航空機等への移動体通信サービスの拡大を目指しており、2010 年から世界を航行する船舶に対して海洋ブロードバンドサービス OceanBB を提供しております。今後は需要の増加が見込まれる航空機内インターネット接続サービス市場にも積極的に参入し、国内外の航空機向け衛星通信サービスビジネスを推進してまいります。

以上